

採 択 理 由

【算 数】 発 行 者 ・ ・ 東 京 書 籍 (株)

- 基礎的・基本的内容がスパイラルに学習できるよう、確実な知識・技能の定着が求められる内容を集中させるとともに、同一領域の内容が連続することがないように排列が工夫されていること。
- 授業開きのページ「学びのとびら」を設定し、授業とノートをセットで例示するなど、主体的・対話的な問題解決の過程を可視化するほか、「今日の深いまなび」を各学年に設定し、求められる資質・能力の向上が図られるよう工夫されていること。
- 単元プロローグでは、日常生活の経験などをふまえた児童同士の対話を通して、単元全体の課題を見つけだすつくりになっており、また、単元末の「たしかめよう」「覚えているかな」で学力の定着を図り、「つないでいこう」で発展させることができるようになっていること。
- 小中の接続への取組として、算数の学習の総仕上げを意図した「算数の学習をしあげよう」を新設し、数学的な見方、考え方ができるようになっていること。
- 5・6年生に単元の学習と関連させた「プログラミングを体験しよう」を設定し、プログラミング的思考を体験できるよう工夫されていること。